

■ 本会議の審議状況 ■

- ◎ 令和2年度鹿児島県一般会計予算成立 総額839,853百万円
- ◎ 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策等追加補正予算議案を可決
- ◎ かがしま県民手話言語条例を可決
- ◎ 新たな総合体育館の整備について活発な論議
- ◎ 副議長に堀之内芳平議員が当選
- ◎ 新型コロナウイルス感染症に関する対策の強化を求める意見書を可決

令和2年第1回定例会は、2月20日に開会され、3月26日までの36日間にわたって開かれた。

今議会においては、令和2年度当初予算、令和2年度補正予算、令和元年度補正予算及び陳情の審査のほか、知事の政治姿勢、新型コロナウイルス感染症対策、新たな総合体育館の整備、鹿児島港本港区エリアまちづくり、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会、次期鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略などの県政の当面の重要課題について、論議がなされた。

また、議会運営委員会提出議案の「鹿児島県議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件」及び議員提出議案の「言語としての手話の認識の普及及び手話をしやすい環境の整備に関するかごしま県民条例制定の件」を全会派等一致で可決した。

3月26日には、桑鶴勉副議長の辞職に伴う副議長選挙が行われ、堀之内芳平議員が当選した。さらに、同日、常任委員会等の新たな委員が選任された。

〈会期日程〉

今期定例会は、2月20日に招集され、会期は2月20日から3月26日までの36日間とされた。

(会期日程は、別掲のとおり。)

〈代表質問〉

代表質問は、2月26日に自民党県議団の藤崎剛議員及び日高滋議員、2月27日に県民連合の上山貞茂議員及び公明党県議団の成尾信春議員により行われた。

(質問要旨は、別掲「代表質問一覧表」のとおり。)

〈一般質問〉

一般質問は、3月2日から3月5日の4日間にわたり16名の議員により行われた。

(質問者及び要旨は、別掲「一般質問一覧表」のとおり。)

〈議案〉

今期定例会で審議された議案は、2月20日に提案された議案68件、3月24日に追加提案された議案3件、議案議2件の計73件であった。

審議の結果、議案はすべて原案のとおり、可決、承認又は同意された。

なお、同意することとされた監査委員は、次のとおり。

- 監査委員 寺田洋一
- 〃 成尾信春

〈請願・陳情〉

請願・陳情は、新規7件、継続6件について審議が行われた。

審議の結果、1件が一部採択一部継続、6件が不採択、1件が一部不採択一部継続、5件が継続審査とされた。

〈意見書〉

意見書は、産業経済委員会の発議による意見書案1件、議会運営委員、オブザーバー及び禧久議員の発議による意見書案1件が、原案どおり可決された。

(可決された意見書は、別掲のとおり。)

(可決された意見書)

- * 「労働者協同組合法案」の早期成立を求める意見書
- * 新型コロナウイルス感染症に関する対策の強化を求める意見書

〈副議長選挙〉

3月26日桑鶴副議長辞職に伴う副議長選挙が単記無記名投票により行われ、堀之内芳平議員が副議長に当選した。

開票の結果は、次のとおり。

投票総数	51票
このうち、有効投票	47票
無効投票	4票（うち白票4票）

有効投票中

堀之内芳平君	46票
たいら行雄君	1票

この後、堀之内新副議長の就任あいさつが行われた。

〈委員会構成〉

3月26日の最終本会議において、常任委員、海外経済交流促進等特別委員及び議会運営委員を選任し、常任委員会、海外経済交流促進等特別委員会及び議会運営委員会の各正副委員長の互選が行われた。

(常任委員、海外経済交流促進等特別委員及び議会運営委員の名簿は別掲のとおり。)